

# 平成24年度一番茶萌芽状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

## 1. 萌芽期

本年	前年	前5ヶ年
4月13日	4月16日	4月12日

## 2. 生育状況

項目	年次	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日	5月12日	5月17日
新芽長 (cm)	本年	0.64 ± 0.23	1.31 ± 0.44	2.90 ± 0.84	4.19 ± 1.40	2.69 ± 1.08	3.50 ± 1.35
	前年		0.35 ± 0.15	0.66 ± 0.32	1.31 ± 0.59		
	前5ヶ年		1.78 ± 0.67	2.89 ± 0.75	4.94 ± 1.22		
新葉数 (枚)	本年	0.22 ± 0.42	0.98 ± 0.65	2.44 ± 0.76	3.38 ± 0.64	2.96 ± 0.81	3.76 ± 0.62
	前年		0.12 ± 0.33	0.58 ± 0.67	1.26 ± 0.69		
	前5ヶ年		1.26 ± 0.62	1.80 ± 0.61	2.74 ± 0.64		

## 3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	2.1	1.0	2.8	7.5	6.4	7.8	-1.4	-3.1	-1.2
	2.4	0.7	2.6	7.1	6.0	7.7	-1.4	-3.5	-1.5
	1.8	0.6	2.2	6.3	5.7	7.1	-1.6	-3.7	-1.9
2月 上旬	1.5	3.1	2.0	6.3	10.4	7.5	-2.8	-2.5	-2.6
	1.0	2.0	3.0	5.7	8.0	8.4	-3.0	-3.0	-1.5
	3.8	7.2	4.3	8.3	14.1	10.1	-0.5	1.1	-0.5
3月 上旬	7.2	3.0	4.7	11.2	7.8	10.3	3.5	-1.0	-0.1
	4.7	5.6	6.1	10.2	12.6	12.1	-0.4	-0.4	0.7
	6.6	5.0	7.4	13.2	12.0	13.4	0.3	-0.9	1.8
4月 上旬	7.5	9.1	9.7	14.9	17.3	16.2	0.9	2.0	3.7
	12.5	10.2	11.8	18.3	18.2	18.4	7.4	3.6	5.9
	15.8	11.3	13.4	22.1	18.2	19.8	10.0	5.0	7.6
5月 上旬	16.5	16.3	15.9	21.7	23.3	22.3	12.3	10.2	10.3

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	13.0	9.5	17.8	4	4	3.7
	28.0	2.0	19.3	4	2	4.1
	8.5	0.5	23.5	3	1	4.6
2月 上旬	38.5	4.5	18.2	3	2	4.5
	22.5	48.5	26.0	4	7	4.3
	46.0	47.5	26.1	4	2	3.9
3月 上旬	52.5	32.0	28.7	5	7	4.7
	10.5	21.0	32.1	3	5	4.0
	79.5	30.0	40.0	5	4	5.4
4月 上旬	26.0	10.0	32.9	6	2	3.5
	52.0	24.0	30.8	4	4	4.1
	29.0	65.5	31.2	4	6	3.7
5月 上旬	43.0	41.5	45.4	4	2	3.8

終霜日 本年 4月8日 (最低気温 -3.1°C) 前年 4月21日 (最低気温 0.2°C)

最低極温 本年 -9.1°C (2月19日) 前年 -5.7°C (2月16日)

#### 4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (57年生)	180cm×30cm	90cm	163cm	防霜ファン・レール設置圃場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:46.9 P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:12.8 K<sub>2</sub>O:20.8

#### 5. 概況

##### 1) 気象

1月から3月の平均気温は、3月上旬が平年比+2.5℃とかなり高かったことを除き、平年比-0.2℃~-2.0℃と平年並み~かなり低めで推移した。4月以降の平均気温は、4月上旬が平年比-2.2℃とかなり低かったが、4月中旬から5月上旬にかけては平年を上回り、特に4月下旬が平年比+2.4℃とかなり高かった。

1月以降の降水量は、月別にみると平年の82%~152%と平年並み~やや多めで推移した。

##### 2) 生育

本年の一番茶萌芽期は、前年より3日早く、前5ヶ年平均より1日遅い4月13日となった。

萌芽期以降の新芽の生育は、4月27日まで前5ヶ年平均に比べてやや遅れたが、その後は4月28日と29日に夏日を連日記録するなど気温が高かったため、前5ヶ年平均に比べて早まった。

# 平成24年度一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

## 1. 摘採日

本年	前年	前5ヶ年
5月10日	5月17日	5月13日

## 2. 生葉収量 (kg/10a)

本年		前年		前5ヶ年	
収量	指数	収量	指数	収量	指数
516 ± 34	101	488 ± 37	95	513 ± 32	100

## 3. 百芽重 (g)

本年		前年		前5ヶ年	
重量	指数	重量	指数	重量	指数
31.7 ± 0.6	84	26.9 ± 1.5	71	37.9 ± 1.9	100

## 4. 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

本年		前年		前5ヶ年	
芽数	指数	芽数	指数	芽数	指数
1629 ± 100	116	1813 ± 72	129	1408 ± 110	100

## 5. 出開度 (%)

本年	前年	前5ヶ年
73	64	60

## 6. 概況

### 1) 生育

萌芽期以降の平均気温が平年を上回り、特に4月下旬が平年比+2.4℃とかなり高かったため、本年の一番茶摘採日は、前年より7日早く、前5ヶ年平均より3日早い5月10日となった。また、萌芽期から摘採日までの日数は27日と前5ヶ年平均より4日少なかった。

本年の摘芽状況は、百芽重が前5ヶ年平均に比べて16%少なく、新芽数が16%多かった。生葉収量は前5ヶ年平均並みの516kg/10aとなった。

## 2) 県下の状況

平坦地の摘採始めは5月5日頃、山間地は5月10日頃と平年並みとなった。また、収量は一般的に平年並みとなった。

## 3) 病害虫の発生

チャノコカクモンハマキの発生が平年に比べ多かった。また、チャノホソガの巻葉が散見された。